

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

園名 奈良市立認定こども園都跡幼稚園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒630-8014
奈良市四条大路五丁目2-55

E-mail : kg-miato@city.nara.lg.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 67 名 女子 63 名 合計 130 名
 児童・生徒の年齢 3 歳～ 5 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 『あいさつ運動・クリーンデー』の取り組み

毎月、第三水曜日に登園するとき、子どもと保護者の方が通園途中で拾ったゴミを集めています。拾ったゴミは、園の入り口で燃えるゴミ、燃やせないゴミ、その他プラスチックに分別してゴミ箱に捨てます。ゴミを集めてくれる係りのお母さん方とも元気に「おはよう」「お願いします」とあいさつをかわせるようになりました。自分たちの住んでいる町をきれいにする、奈良の町をきれいにする。という、この取り組みを通して、自分たちの町を、奈良を大好きと思える子どもたちを育てていくという世界遺産学習へ、またゴミの分別を通して環境教育を行っていました。



(クリーンデーの日はヒバサミやトングをもって親子でゴミを集めながら登園します。)



(ゴミを分別できるようにゴミ箱をいくつか用意し、子どもたちにも環境のためのゴミの分別の大切さを知らせています。)



(前日から明日がクリーンデーであることを知らせ、みんなが参加できるようにしています。)

(2) 『自分たちの町を知る』 取り組み

本園は地域に平城宮跡、薬師寺、唐招提寺の世界遺産に囲まれています。一年を通して園外保育に出かけ、自分たちの住む奈良とは、どんなところか知る機会を大切にするために、校区内にある唐招提寺、平城宮跡や大極殿、薬師寺に行きました。唐招提寺では、すみ鬼の話や鑑真和上の話をききました。また、薬師寺では三重の塔な薬師如来の話を、西山厚先生には東大寺や大仏の歴史などについても子どもたちが興味関心をもてるように話してくださいました。

日々世界遺産の中で生活をしているが、いろんなことを知ることで、より親しみをもつようになり奈良を大切に思う気持ちや、今まで大切に守ってきた人の思いを知るなど、伝統文化を大切に思う気持ちが育ったと思います。



3月 薬師寺に行きました。



11月、平城宮跡、大極殿へ
どんぐりひろいにいきました。



12月、帝塚山大学の西山厚氏（元奈良国立博物館）から大仏様のことや東大寺の歴史の話をきいた後、東大寺に見学にいきました。西山先生から聞いた大仏様の話と大仏様を比べてみたりして大仏様をより身近に感じ、大切にしていこうという気持ちが強くなりました。

(3) 『トマトプロジェクト』の取り組み

トマトを栽培し、そのトマトでジュースを作り、子どもたちと相談して、今年は「みあとげんきとまとじゅうす」と名前を付け、販売しました。販売するに当たり、どうすればたくさん買ってもらえるか等、考えて看板やちらしを作るなど、工夫しました。社会の仕組みにも気づき、食育だけでなく、キャリア教育にもつながりました。また、トマトジュースの収益金と鹿のエサとなるドングリを地域の方々と一緒に拾ったり、休みの日に家族で拾いに行ったりして150,4kgのドングリを鹿愛護会に寄付しました。鹿のことを知り、奈良の世界遺産を守ることに役立っているという喜びを感じ地域の方と共に世界遺産のことを考える機会となりました。

① トマトの苗植え、収穫（5月～8月）

- カゴメからトマトのリリコの苗をもらい、育ててもらいました。地域の方にトマトの植え方や育て方を教えていただきました。夏休みは保護者も一緒に草抜きや水やりをして食べ物を育てる大変さも少しわかりました。

「これぐらい赤くなったら収穫してもいいかな？」と色の濃度が書かれているカードを見比べて真っ赤になると取ろうと収穫の時期も考えています。

「絞るとジュースになるのかな？」と自分たちでジュースづくりに挑戦しています。一個のトマトでどれくらいの量のジュースができるのかとワクワクしながら、ためしています。

トマトを245kg収穫しました。



② トマトジュース販売（9月～11月）

- 昨年度の年長児の活動を見ていた今年の5歳児も「ジュースにしたい」「みんなに飲んでもらいたい」と地域のふれあいまつりで売ることにしました。ジュースの名前はみんな考えたことを出し合うプレゼンテーションをし、「トマトジュースを飲んでみんなに元気になってもらいたい」という願いを込めて『みあとげんきとまとじゅうす』に決まりました。みんなで考えを出し合い、たくさん買ってもらえるように、のぼりやちらし、看板を考えてつくりました。「トマトジュースってわかるようにトマトもいっぱい描こう」と、友達と相談しながら丁寧に描いています。たくさん買ってもらうにはどうしたらいいか、社会の仕組みを考える良い機会となりました。



- ・地域の方がジュースをいれる新聞の袋（エコバッグ）をつくってくださいました。
地域の方の協力をたくさん得ることができました。幼稚園の活動を知ってもらう良い機会にもなりました。



- ・245kgのトマトから952本のジュースができました。
幼稚園で半分ずつのみ、1本ずつ持って帰りました。「自分たちで作ったトマトでできたジュースはおいしい」と、初めてトマトジュースを飲んだ子どもたちも飲むことが出来食育につながりました。

- ・9月27日に都跡ふれあいまつりでトマトジュースを販売しました。
売る人、袋に詰める人、看板をもって知らせに行く人など役割を分担してがんばりました。お店の人になって売るという経験はキャリア教育につながりました。
ジュースがたくさんできたので、市役所や世界遺産学習サミット、幼稚園でも販売しました。



③多賀城市の幼稚園にトマトジュースを送る（11月）

- ・毎年は応援メッセージを送っている宮城県多賀城市のことをホームページを見てどんなところか調べました。宮城県多賀城市のことを知ることで、今度は奈良のことを知ってほしいと思い「奈良アピールメッセージ」をラベルに描いて貼ることにしました。「奈良には鹿がいるよ」「大仏様も描こう」と、自分たちの町の素晴らしいところをあらためて知る機会になりました。
- ・日本地図をみて、こんなに奈良から遠いところの幼稚園だということを知り、宅急便の方に「遠いけどよろしくお願ひします」とお願ひしました。



- ・お礼に放射能の検査用紙をつけてくださったサツマイモを送っていただきました。
震災いて考えたり、何もなく平和に過ごせる素晴らしさに気付く良い機会になりました。



④奈良鹿愛護会へトマトジュースの収益金とドングリを寄付する。(12月5日)

- 鹿は冬になると食べ物がないということで、鹿にどんぐりと寄付金をもっていこうと子どもたちと相談しました。トマトジュースの収益金と保護者や地域の方と一緒に集めたドングリをもって、“鹿よせ”を見てどんぐりと鹿せんべいをあげました。150,4kgを「奈良鹿愛護会」へ寄付しました。鹿が喜んで食べる様子を見てうれしい気持ちになりました。自分たちがしたことが、世界遺産を守ることにつながり役に立っている感を味わいました。



- 一年間取り組んできたトマトプロジェクトの写真を本にしました。



<成果と課題>

- ・クリーンデーや栽培活動を通して、自分たちの住んでいる町をきれいにすることや、ごみの分別を考えたりすること、トマトの栽培活動を通して環境を考える機会となり、環境が自分たちの生活に大切なことであることがわかりました。また、子どもたちだけではなく、保護者と共にすることで家族で考えることにつながりました。
- ・よく売れるためにどうしたらよいか考えることは、自分たちで課題を見つけ解決していく力が育ってきました。
- ・ジュースを販売した収益金で鹿を守るために寄付をしたり、鹿のすきなどんぐりを鹿に持って行ったり、子どもの考えを大切にしながら取り組みました。まわりの方から認められ、自分たちも世界遺産を守ることにかかわっていることに喜びと奈良に住んでいるアイデンティティが育ちました。そして、奈良市が目指す奈良を誇りに思い、奈良を語れる子どもに育っていくと確信しました。また、地域や保護者と共にすることで、地域の方とのつながりも深まり、共に学び合う良い機会となりました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）